

わが家の約束

「約束作りは責任を教えるチャンス!」

こんなことはありませんか？

小学校6年生のゆうきさん。去年までは、2つ年下の妹と同じ部屋を使っていたが、小学校卒業も近づいてきたため、最近、妹とは別の部屋を与えられました。ところが、一人部屋を与えられてから、ゆうきさんの様子が何だか変です。今までは、学校から帰ると居間で家族と過ごしていましたが、最近は自分の部屋にいたことが多くなりました。

夜遅くに物音がしたので、家族が様子を見に行きましたが、カギがかかっている、呼んでも反応はありませんでした。



ワーク1

子どもに一人部屋を与える前に、あなたならどんなことを子どもと話し合いますか。

.....

.....

.....

.....




ワーク2

「わが家の約束」として実践していること、またそれを定着させる工夫を交流しましょう。

.....

.....



.....

◇他の方の意見をメモしましょう◇




いいね!



いいね!

今日気が付いたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか?



.....

今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



子どもが大きくなるにつれ、子どもに任せることもどんどん増えていく。大切なのは、そういう機会をとらえて、自由には責任が伴うということを教えていくことだよ。子どもとよく話し合い、子どもが納得して作った約束は、長く続けられるよ。

資料I

実践カード

話そう!語ろう!わが家の約束

名前



月日	/	/	/	/	/	/	/
曜日	日	月	火	水	木	金	土
守れたかな?							

※家族で話し合っ、◎、○、△をつけましょう。

感想を書きましょう

保護者から一言

家族の約束を守る子は 社会での約束も守る

親は子にとって、一番身近な他者です。

その親との関わり方をもとにして、将来、より広い社会で他人との関わりを作っていきます。親との約束を守る子は、社会に出ても約束を守ることが大切だと考える子に育ちます。

約束を守れるようにするにはどうすればいいの？



決めるときは

約束の必要性を子どもと話し合う

大人の考えで押しつけたものでなく、子どもが納得して作った約束なら、子どもも守ろうとします。

認める言葉を掛ける

「ありがとう。」の一言でも十分。親が認めているということを言葉に出して伝えることで、子どもはやる気になります。



守れたときは



守れなかったときは



繰り返し話し合う

約束を守れなかった理由を聞き、守れるようにするにはどうすればよいかを再度話し合うことで、子どもが自分の行動や気持ちを見直します。

進行案

ねらい

- 家庭内の約束は、子どもとよく話し合い、責任の大切さを教えていくよい機会だということを理解し、約束の作り方や見届け方について話し合しましょう。

時間	進め方	留意点
10分	<p>はじめのことば</p> <p>「みなさん、こんにちは。本日は参加いただきありがとうございます。今日は『家庭での約束作り』について考えましょう。」</p> <p>アイスブレイク</p> <p>「最初にみなさんで簡単なゲームを楽しみましょう。では、やり方を説明します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆グループ内で順番に自己紹介をする。 ◆自己紹介の中に「好きな食べ物」を必ず入れる。 	<p>◇笑顔で親しみやすい言動を心がける。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があると、やわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなる。</p>  <p>◇「7 アイスブレイク①」参照。</p>
30分	<p>3つの約束の確認</p> <p>「では、これから活動に入りますが、その中でみなさんに守ってほしい約束が3つあります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆3つの約束を確認する。 <p>ワークショップ</p> <p>「まず、ワークシートをご覧ください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「こんなことはありませんか?」を読む。 <p><ワーク1></p> <p>「では、あなたが子どもに部屋を与えるとしたら、事前にどんなことを子どもと話し合いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・部屋のカギはかけない。 ・ゲームは部屋でなく居間でやる。 ・友だちは家族と挨拶してから入れる。 <p><ワーク2></p> <p>「みなさんの家の約束や、それを定着させるために取り組んでいることは何ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビは時間を決めて見る。 ・毎日風呂洗いをする。 ・子どもと話し合ってから約束を決める。 ・守れたら認める言葉をかける。 	<p>◇「3 3つの約束」参照。</p> <p>◇家庭内の話題も出るため、信頼関係が大切であることを理解してもらう。</p>  <p>◇「5 進行役について(1)子育てサロン型」参照。</p> <p>◇ワークシートにメモする時間がなければ、そのまま交流に入ってもよい。</p> <p>◇参加者が話しやすくなるよう、進行役が最初に困っていることや悩んでいることを話すときよい。</p> <p>◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。</p>
20分	<p>振り返り</p> <p>「今日の話し合いを聞いて、よいと思ったこと、やってみようと思ったことは何ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子で話し合い、納得して決めた約束は、子どもも守ろうとするから、次は話し合って決めたい。 <p>「いろいろな意見の中には、今日からいかせそうなヒントがありました。私は○○さんの△△という意見がなるほどと思いました。話し合うことで気持ちが軽くなった方もいらっしゃるでしょう。これからも積極的にこうした機会を活用してください。実践カードを使って家庭でもチャレンジしてみましょう。」</p>	<p>◇代表で1~2人に話してもらおう。</p> <p>◇時間があれば、資料2を配布し、読む。</p> <p>◇進行役が参加者と同じ目線で「こんなヒントをもらった」という話ができるとよい。</p> <p>◇資料1を配り、各家庭での実践を促す。</p>